

中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された 漢文の教材一覧（その3）

宮崎 洋一

筆者は、拙稿「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧¹⁾」（以下、「拙稿1」）において、中学校は平成14年4月1日から、高等学校は平成15年4月1日から、それぞれ施行された「学習指導要領」に拠って編集された、中学校の「国語」1～3と高等学校「国語総合」の教科書のすべてと高等学校「古典」の教科書²⁾について、採られた漢文の教材（合計419種³⁾を、後述するような教材に現れる中心人物や詩文の作者の生卒に従って時代順に整理した。その上で、漢文の教材が、古代の散文と中世の近体詩が中心で、訓読で読みにくい白話などは教材になっていないこと、『老子』『莊子』『墨子』『荀子』などの諸子、古詩、日本の漢文は、ほとんどが高等学校「古典」での教材になっていること、などを指摘した。

その後、「学習指導要領」の改訂にともなって、拙稿「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧（その2）⁴⁾」（以下、「拙稿2」）において、中学校は平成24年4月1日から、高等学校は平成25年4月1日から、それぞれ施行された「学習指導要領」に拠って編集された、中学校「国語」1～3と高等学校「国語総合」「古典B」の教科書のすべて⁵⁾について、拙稿1と同じように、採られた教材（442種）を教材を時代順に整理した。その上で、日本漢文の教材に大きな変化はない一方、中国の教材が中世と近世を中心に23種増えていること、中学校「国語」と高等学校「国語総合」で重複する教材が減っていること、また高等学校「国語総合」での『論語』の教材が減っている一方、『孟子』『老子』『莊子』『漁父の辞』（屈原）などが増えているし、「古典B」まで含めると、盛唐の詩が減っている一方、『三国志』などの中国の中世の漢文教材や近世（明清時代）の教材が増えており、全体として、漢文教材の内容の広がっていることなどを指摘した。さらに、その後、拙稿「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧（その2-2）⁶⁾」（以下、「拙稿2-2」）において、同じ「学習指導要領」の下で改訂された中学校「国語」1～3と高等学校「国語総合」「古典B」の教科書のすべて⁷⁾について、同じように、採られた教材（436種）を教材を時代

順に整理した。その上で、中国の古代・中世の教材が減少する一方、近世の教材が増えていることや、日本の教材も数の上では変化がないことなど、「拙稿2」の傾向が続いていること、「拙稿2」で増えた中学校「国語」の教材の種類が、「拙稿1」の時とほぼ近い数にもどったこと、高等学校の「国語総合」と「古典B」に共通する教材が98種から89種に減ったこと、などを指摘した。

本稿は、前述の拙稿を承けて、「学習指導要領」の改訂にともなって、中学校は令和3年4月1日から、高等学校は令和4年4月1日から、それぞれ施行された「学習指導要領」に拠って編集された、令和2年度末検定済の中学校「国語」1～3の教科書のすべて（4社、各社1種）、令和3年度末検定済の高等学校「言語文化」の教科書のすべて（9社、計17種）、および、令和4年度末検定済の高等学校「古典探求」の教科書のすべて（9社、計14種⁸⁾の中で扱われた教材を、別表1に整理した。調査した教科書とそれぞれの表中の略称は、下記の通りである。

〈中学校〉

教出 『伝え合う言葉 中学国語』1～3、教育出版、令和2年3月検定済（703・803・903）

三省堂 『現代の国語』1～3、三省堂、令和2年3月検定済（702・802・902）

東書 『新編 新しい国語』1～3、東京書籍、令和2年3月検定済（701・801・901）

光村 『国語』1～3、光村図書、令和2年3月検定済（704・804・901）

〈高等学校「言語文化」〉

桐原 『探求 言語文化』桐原書店、令和3年3月検定済（言文717）

三省堂 a 『精選 言語文化』三省堂、令和3年3月検定済（言文703）

三省堂 b 『新 言語文化』三省堂、令和3年3月検定済（言文704）

数研 a 『言語文化』数研出版、令和3年3月検定済（言文707）

数研 b 『高等学校 言語文化』数研出版、令和3年3月検定済（言文708）

数研 c 『新編 言語文化』数研出版、令和3年3月検定済（言文709）

第一 a 『高等学校 言語文化』第一学習社、令和3年3月検定済（言文713）

第一 b 『高等学校 精選言語文化』第一学習社、令和3年3月検定済（言文714）

第一 c 『高等学校 標準言語文化』第一学習社、令和3年3月検定済（言文715）

第一 d 『高等学校 新編言語文化』第一学習社、令和3年3月検定済（言文716）

大修館 a 『言語文化』大修館書店、令和3年3月検定済（言文705）

大修館 b 『新編 言語文化』大修館書店、令和3年3月検定済（言文706）

筑摩 『言語文化』筑摩書房、令和3年3月検定済（言文712）

東書 a 『新編言語文化』東京書籍、令和 3 年 3 月検定済（言文701）

東書 b 『精選言語文化』東京書籍、令和 3 年 3 月検定済（言文702）

文英堂 『言語文化』文英堂、令和 3 年 3 月検定済（言文710）

明治 『精選 言語文化』明治書院、令和 3 年 3 月検定済（言文711）

〈高等学校「古典探求」〉

桐原古 『探求 古典探求 漢文編』桐原書店、令和 4 年 3 月検定済（古探722）

三省堂古 『精選 古典探求 漢文編』三省堂、令和 4 年 3 月検定済（古探705）

数研古 a 『古典探求 漢文編』数研出版、令和 4 年 3 月検定済（古探710）

数研古 b 『高等学校 古典探求』数研出版、令和 4 年 3 月検定済（古探711）

第一古 a 『高等学校 古典探求 漢文編』第一学習社、令和 4 年 3 月検定済（古探718）

第一古 b 『高等学校 精選古典探求』第一学習社、令和 4 年 3 月検定済（古探719）

第一古 c 『高等学校 標準古典探求』第一学習社、令和 4 年 3 月検定済（古探720）

大修館古 a 『古典探求 漢文編』大修館書店、令和 4 年 3 月検定済（古探707）

大修館古 b 『精選 古典探求』大修館書店、令和 4 年 3 月検定済（古探708）

筑摩古 『古典探求 漢文編』筑摩書房、令和 4 年 3 月検定済（古探716）

東書古 a 『新編古典探求』東京書籍、令和 4 年 3 月検定済（古探701）

東書古 b 『精選古典探求 漢文編』東京書籍、令和 4 年 3 月検定済（古探703）

文英堂古 『古典探求』文英堂、令和 4 年 3 月検定済（古探712）

明治古 『精選 古典探求 漢文編』明治書院、令和 4 年 3 月検定済（古探714）

別表の記載方法は、これまでの拙稿とはほぼ同じで、下記の通りである。

No. ……大きく中国と日本に分けた上での教材の通し番号。ゴシック・網掛けの数字の教材は、「拙稿 2 - 2」での調査では、教材として扱われておらず、本稿の整理で、新たに教科書に加えられた教材を示す。

時代……中国と日本の時代や王朝。大きく中国と日本に分け、中国は、さらに「古代」（上古～後漢、紀元後220年まで）・「中世」（三国～唐五代、959年まで）・「近世」（宋～清、1911年まで）・「近現代」（1912年以降）に分けて太線で区切った。

文体……特に詩の場合にその型式を記した。古体詩の場合は「古詩」、さらに1句の字数が一定の場合は「五古」（五言古詩）など、近体詩の場合は「五絶」（五言絶句）「七律」（七言律詩）など。

出典／作者……その教材の出典や作者。

生卒……教材に現れる中心人物や詩文の作者の生卒。本稿では、教材は、出典の

書籍の成立年代ではなく、教材に現れる事件や人物や詩文の作者の時代順に並べた。例えば、No. 1「鼓腹撃壤」は、太古の聖天子の堯が中心人物であるが、出典は元の曾先之の『十八史略』であるように、歴史書などでは、出典となった書籍が成立した時代と書かれている事件や人物の時代が離れている場合があるからである。

中学校「国語」／高等学校「言語文化」……中学校「国語」と高等学校「言語文化」における教材の掲載箇所。上記の一覧で冒頭に掲げた出版社の略称で大別した上で、中学校の「国語」は教材が載せられた学年と掲載ページをゴシックで記し、高等学校の「言語文化」は、同じ出版社の教科書は abc…で区別して掲載ページを明朝体で記し、さらに同じ出版社の複数の教科書にある教材の場合はその一つのみ掲載ページを記して、最後に+印を付した。

高等学校「古典探求」……高等学校「古典探求」における教材の掲載箇所。中学校「国語」／高等学校「言語文化」と同様に、出版社の略称で大別した上で掲載ページを記し、さらに同じ出版社の複数の教科書にある教材の場合はその一つのみ掲載ページを記して、最後に+印を付した。

教材の総数は426種で、これまでの拙稿において指摘した、採られた漢文の教材が、

- ・中国の古代と中世に偏っていること
- ・高等学校の「言語文化」と「古典探求」の間で、『論語』はどちらにも採られているが、『老子』『荘子』『墨子』『荀子』などの多くは、「古典探求」で採られていること
- ・詩は近体詩が中心で古詩は「古典探求」で多く採られていること

については、大筋に変化はない。しかし、この度は、「学習指導要領」の改定によると思われる違いもあるので、その点なども含めて、教材の種類の変化を整理しておきたい。

(1) 中国の教材の減少について

「拙稿2-2」と本稿の別表1を比較すると、「拙稿2-2」では教材数が合計436種だったのに対して、今回は426種で、10種(2.3%)。「拙稿2-2」の合計に対する割合)少なくなっている。

さらに細かく見てみると、中国の教材は403種から365種へ38種(9.4%)減少しており、その内訳は、古代の教材が230種から204種(別表1 No. 1~204)へ26種(同11.3%)減少、中世の教材が140種から126種(別表1 No. 205~330)へ14種

(同10.0%) 減少、近世の教材が32種から34種(別表1 No. 331~364)へ2種(同6.3%)増加し、近現代の教材は数も内容も変化なかった(別表1 No. 365)。「拙稿2-2」に引き続いて、中国の教材は、古代・中世の教材の種類が減少した。

(2) 日本の教材の増加について

これに対して、日本の教材は、「拙稿2」と「拙稿2-2」の間ではほとんど違いは無かったが、今回は、「拙稿2-2」の33種から61種(別表1 No. 日01~日61)へ28種(同84.8%)と大きく増加した。しかも、「言語文化」でも多くの教材が掲載されている。「学習指導要領」の「言語文化」の「3 内容の取扱い」において、「日本漢文、近代以降の文語文や漢詩文などを含める」とされたことが大きく反映されている。付表に整理した教材では、夏目漱石が特に多い。

前回の「学習指導要領」改定後の「拙稿2」においては、その前の「拙稿1」での整理と比べると、中国の教材は72種扱われなくなって、新たに95種が加えられ、日本の教材は11種扱われなくなって、新たに11種が加えられていた。これに対し、本稿での整理では、「拙稿2-2」と比べると、中国の教材が105種扱われなくなって、新たに67種が加えられ、日本の教材が9種扱われなくなって、新たに37種が加えられた(今回、扱われなくなった教材は、中国と日本をあわせて、付表2に整理した。また、新たに加えられた教材の中には、「拙稿1」「拙稿2」の整理の時には扱われていて、再び加えられた教材、付表3の中国11種と日本4種を含んでいる)。おおよそ、日本の教材を増やした分、中国の教材が減った、とも言えるであろう。

(3) その他の特徴

このほかの特徴としては、中学校「国語」の漢文教材の種類が、20種から18種に減少した。特に、唐詩は、孟浩然「春暁」、李白「黃鶴楼にて孟浩然の広陵に之くを送る」、杜甫「絶句」「春望」の4種のみである。

また、高等学校「古典探求」の教材の数は、「拙稿2-2」の384種から333種へ51種(13.3%)減少しているが、「言語文化」と「古典探求」に共通する教材も、89種から77種で12種(13.5%)に減っており、教材の扱いや難易度には、大きな変化ないように思われる。

これまでの拙稿に引き続いて、本稿では、令和2~4年度末検定済の中学校「国語」高等学校「言語文化」「古典探求」の教科書の漢文教材を調査し、「拙稿2-

2」で調査した教科書との違いなどについて検討した。今後の教科書の改訂においても検討を続けてゆきたい。

注

- 1) 「中学校・高等学校の国語の教科書に掲載された漢文の教材一覧」『文教国文学』第56号、広島文教女子大学国文学会、2012年2月、pp. 44(1)～28(17)、ISSN: 02863065、<https://doi.org/10.51095/kokubun.56.03>
- 2) 中学校「国語」は5社、各1種。高等学校「国語総合」は10社、23種。高等学校「古典」は11社、13種。
- 3) 「拙稿1」の表では418種となっているが、「拙稿2」において訂正した。詳細は、「拙稿2」の注(2)参照。
- 4) 『文教国文学』第59号、広島文教女子大学国文学会、2015年2月、pp. 42(11)～20(33)、ISSN: 02863065、<https://doi.org/10.51095/kokubun.59.03>
- 5) 中学校「国語」は平成22年度末検定済、5社、各1種。高等学校「国語総合」は平成23年度末検定済、9社、計23種。高等学校「古典B」は平成24年度末検定済、10社、計18種。
- 6) 『文教国文学』第63号、広島文教女子大学国文学会、平成31(2019)年2月、pp. 15～35、ISSN:02863065、<https://doi.org/10.51095/kokubun.63.02>
- 7) 中学校「国語」1～3は、平成26年度末検定済、5社、各1種。高等学校「国語総合」は平成27年度末検定済、9社、計24種、高等学校「古典B」は平成28年度末検定済、9社、計18種。
- 8) 「拙稿2-2」で調査した教科書と比べると、中学校は1社、1種減少、高等学校「言語文化」は1社増1社減、計7種減少、「古典探求」は1社、計5種減少している。

(本学教授)

別表 1 令和 2 ～ 4 年度末検定済みの中学校「国語」高等学校「言語文化」「古典探求」に掲載された漢文教材一覧

No.	時代	文体	教材	出典/作者	生卒	中学校「国語」/高等学校「言語文化」 (令和2/3年度末検定済)	高等学校「古典探求」 (令和4年度末検定済)
1	上古	跋扈擊榘		【十八史略】	堯		高寧学校「古典探求」 (令和4年度末検定済)
2	殷	伯夷・叔齊・孤竹君の二子なり		【史記】伯夷列伝	伯夷：BC1100頃	第一古a-012+, 東書古a-220	
3	殷	伯也、叔也、天道は親なし。…天道は是か非か		【史記】伯夷列伝	伯夷：BC1100頃	教研古a-122+	
4	西周	紀事		【列女】季荊	桓公：位BC770-BC744	教研古a-124+, 筑摩古036, 明治古158	
5	春秋	知に悔まらざること則ち難し		【韓非子】12説難	韓武公：位BC651-BC637	桐原古164, 大修館古a-078, 文英堂古386	
6	春秋	管仲の交わり		【韓非子】12説難	管仲：?-BC645	桐原古164, 大修館古a-078, 文英堂古386	
7	春秋	桓公 心に管仲を殺さんと欲す		【史記】管仲列伝	管仲：?-BC645	桐原古156, 教研古158+, 筑摩古164, 東書古-266, 文英堂198, 明治138	
8	春秋	桓公 管仲を殺さんと欲す		【史記】管仲列伝	管仲公：位BC645-BC621		
9	春秋	桓公 管仲を殺さんと欲す		【管子】外篇天道	管仲公：位BC645-BC621		
10	春秋	宋襄の仁		【列仙伝】	襄穆公：位BC659-BC621	桐原古113	
11	春秋	三年 飛はず鳴かず		【十八史略】	宋襄：位BC651-BC637	東書古a-223	
12	春秋	顔回の蛇		【史記】齊世家	齊宣公：位BC685-BC643	明治古224	
13	春秋	病膏肓に入る		【春秋】	蔡桓公：位BC685-BC643	大修館古a-010+	
14	春秋	鮑天		【春秋】	蔡桓公：位BC685-BC643	桐原古010, 三省堂古016	
15	春秋	顔回		【春秋】	蔡桓公：位BC685-BC643	桐原古032, 三省堂古124, 教研古a-156+, 大修館古a-106+, 筑摩古106, 東書古a-228+, 文英堂古302, 明治古116	
16	春秋	詩経 蟋蟀		【詩経】蟋蟀	春秋前半	東書古b-071	
17	春秋	望郷の序 齊の莊公 出でて戴す		【新序】節士/【春秋】	春秋前半	教研古b-154+, 筑摩古091	
18	春秋	人ごとに其の室を有するにしかず		【新序】節士/【春秋】	子罕：BC567-BC546頃在世	第一古a-134+	
19	春秋	兵の形は木に象どる		【孫子】	孫武：BC506頃	三省堂古022, 第一古a-007+	
20	春秋	呉越同舟		【孫子】	孫武：BC506頃	東書古b-163	
21	春秋	知に勝るは五有り…彼を知り己を知る者は		【孫子】	孫武：BC506頃	三省堂古022, 第一古a-007+	
22	春秋	兵は敵道なり		【孫子】	孫武：BC506頃	明治古141	
23	春秋	君子と雖も能わず		【史記】	孫武：BC506頃	東書古a-224	
24	春秋	國人の鼎 畢公馬あり		【史記】	孫武：BC506頃	桐原古171	
25	春秋	江原の橋 江北の沼と為る		【史記】	孫武：BC506頃	桐原古092, 教研古a-022+	
26	春秋	望郷の序 波瀾に興る		【史記】	孫武：BC506頃	桐原古092, 教研古a-022+	
27	春秋	望郷の序 波瀾に興る		【史記】	孫武：BC506頃	第一古a-008+, 筑摩古165	
28	戦国	望郷の序 波瀾に興る		【史記】	孫武：BC506頃	第一古a-008+, 筑摩古165	
29	春秋	学びて明に之を習う。亦賢しからずや		【論語】01学而	孔子：BC552?-BC479	修出2-142, 三省堂3-133, 光村3-20/桐原184, 三省堂a-194+, 教研古-184+, 第一古a-192+, 大修館古-238+, 筑摩190, 東書古-238+, 文英堂228, 明治186	
30	春秋	其の人となりや孝弟にして、而も上を犯す		【論語】01学而	孔子：BC552?-BC479	第一古a-195+	
31	春秋	巧言令色鮮し仁と		【論語】01学而	孔子：BC552?-BC479	桐原186, 三省堂a-196+, 教研古-183+, 第一古a-194+, 大修館古-250, 東書古-240+, 文英堂230, 明治189	

32	春秋	吾日に三たび吾身を省みる	『論語』01字而	孔子：BC552?-BC479	桐原185、三省堂a-197+,大修館b-251, 東書a-239+, 文英堂230, 明治169
33	春秋	可なり。未だ賢しくして楽しむ當みて礼を好む者にはかきさるなり。	『論語』01字而	孔子：BC552?-BC479	
34	春秋	政を為すに徳を以てすれば賢えは北辰の其の所に照りて之を覆ふに政を以てし、之を斉うるに刑を以てすれば	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-198, 第一-a-197+, 東書b-276, 明治167
35	春秋	吾 十有五にして字に志す	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	第一-a-197+, 筑摩193, 明治168
36	春秋	父兄は唯だ其の疾をこれ憂う	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	三省3-132 桐原184, 三省堂a-194, 教研a-182+, 第一-c-247, 大修館a-236+, 筑摩192, 東書a-238+, 文英堂228, 明治169
37	春秋	放き兼ねて新しきを知れば、以て師と為るべしと	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	三省3-133 光村3-29/三省堂b-227, 第一-a-192+, 大修館b-242, 明治166
38	春秋	字びて思われざれば則ち固し	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	真書3-145 光村3-30/桐原185, 三省堂a-195+, 教研a-184+, 第一-c-192+, 大修館a-242+, 筑摩190, 文英堂229, 明治166
39	春秋	由よみに之を知るを誨えんか	『論語』02為政	孔子：BC552?-BC479	象出2-144 三省堂a-195, 教研a-186+, 第一-a-193+, 筑摩191, 東書a-239, 明治166
40	春秋	當と貴とは異れば	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	桐原古071
41	春秋	朝に道を問ひば	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	三省堂古062
42	春秋	士 道に志して應え應えを稱する者は	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	文英堂232
43	春秋	君子は義に喟り、小人は利に喟る	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200, 筑摩193
44	春秋	君子は道に訓にして行いに、敏ならん	『論語』04里仁	孔子：BC552?-BC479	大修館a-228
45	春秋	道行われず、好みに乗りに、敏ならん	『論語』05公治長	孔子：BC552?-BC479	
46	春秋	敏にして字を省み、下問を取らば	『論語』05公治長	孔子：BC552?-BC479	東書古b-053
47	春秋	なんぞ各なんじの志を言わさる…老者は之を安んじしめ、朋友は	『論語』05公治長	孔子：BC552?-BC479	東書古072
48	春秋	顔回という者有り 学を好む	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479	筑摩古072
49	春秋	賢なるかたな回や 一草の束、一瓢の飲、一瓢に在り	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479	東書古b-052
50	春秋	子の語を絶はざるに非ず	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479	大修館古a-064+
51	春秋	女、人を御たりや…行くに終は由らず	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479	
52	春秋	之を知る者は之を好む者にしむ。之を好む者は之を愛するに非ず	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479	大修館古a-067+
53	春秋	何ぞ仁を事とせん、必ず愛を成か、	『論語』06雍也	孔子：BC552?-BC479	
54	春秋	賢き人ば賢せず、非せ人ば賢せず。一	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	東書古b-166
55	春秋	之を用われれば則ち行ひ、之を善つれば則ち	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	桐原古071
56	春秋	感る	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	大修館古a-144+
57	春秋	感念を感らば水を飲み	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	
58	春秋	我は生まれながらにして之を知る者に非ず	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-227
59	春秋	三人行けば、必ず我が師有り。其の善なる者を従ひて	『論語』07述而	孔子：BC552?-BC479	教研a-184+
60	春秋	学は取ればざるが如くするも	『論語』08泰伯	孔子：BC552?-BC479	第一-a-193+
61	春秋	逝く者出づるの如きか	『論語』09子罕	孔子：BC552?-BC479	東書b-276, 文英堂223, 明治170
62	春秋	賢えは出を為るが如し。未だ一簣を成さざるも	『論語』09子罕	孔子：BC552?-BC479	明治167
63	春秋	既衰り。子朝より退きて曰く、人を傳つくるかぞ。馬を問わす。	『論語』10郷党	孔子：BC552?-BC479	三省堂b-228, 教研a-183+, 東書a-240+

64	春秋	去冬人に難がること使わず 師や魯をなかり、師や及ばず。…過ぎたるは 猶及ばざるがごとし	『論語』11先進 『論語』11先進	孔子：BC552?-BC479 孔子：BC552?-BC479	文英堂233 大修館古a-240	桐原古072, 大修館古a-146+, 文英堂古314
65	春秋	父兄の托る有り。之を如何ぞ其れ聞くがま まに斯れ之を行むべし	『論語』11先進	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-202	大修館古a-066+, 文英堂古315
66	春秋	己の欲せざることば、人に施すことなか ら	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	集出2-144/	
67	春秋	君を以て尊ぶ事尊れず	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	桐原187, 叢研a-185+, 第一-a-196+, 東書古b-048 治168	桐原古072, 東書古b-048 三省堂古063, 文英堂古316
68	春秋	食を足らし兵を足らし民を信にすと	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200	
69	春秋	君は正なり。子 帥いるに正を以てせ	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-198, 第一-a-196+, 筑摩193, 明治168	
70	春秋	ば、孰か取て正しからざるん	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200, 筑摩194	
71	春秋	君子の徳は風、小人の徳は草なり。…	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200, 筑摩194	
72	春秋	徳を為すにいずくんを徳を用いん。…	『論語』12顔淵	孔子：BC552?-BC479	大修館古086	明治古086
73	春秋	徳を仁を問う。子曰く、人を愛すと	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	桐原187, 三省堂a-198, 大修館古-252b, 東書古-240+	
74	春秋	汝が心を正さずんば、則ち公を治めず	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	桐原186, 叢研a-183+, 明治170	東書古b-164
75	春秋	其の身を正しければ令せしむるは行われ	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	真書3-145/ 三省堂a-197, 大修館古-251, 文英堂 230	東書古a-250
76	春秋	父は子の爲に隠し、子は父の爲に隠す	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200	
77	春秋	君子は相して同せず、小人は同じて和せず	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	桐原186, 三省堂a-196, 大修館古-250	
78	春秋	君子は寡にして嚮らず	『論語』13子路	孔子：BC552?-BC479	大修館古a-238	
79	春秋	剛毅は剛 仁に近し	『論語』14憲問	孔子：BC552?-BC479	第一-a-193+	
80	春秋	徳有る者は必ず言有り、言有る者必ずしも 徳有らず 仁者は必ず勇有り、勇者は必ず しも仁有らず	『論語』14憲問	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200	大修館古a-147, 東書古b-052, 文英堂古316
81	春秋	古の学ぶ者は己の爲にし、今の学ぶ者は人 の爲にす	『論語』14憲問	孔子：BC552?-BC479	三省堂古073	
82	春秋	子路君子を問う。子曰く、己を修めて以て 教す	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200	
83	春秋	君子の上より教す、小人の上は礼に遷ると 君子はこれ己を己に求め、小人はこれ人に 求む	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	三省堂a-200, 筑摩193	
84	春秋	一言にして以て終身之を行う者有るか。… …其れ難か。己の欲せざること、 過らて改めざる、是れを過らと謂う	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	三省堂3-133, 真書3-146/ 桐原186, 三省堂a- 197+, 叢研a-185+, 第一-a-194+, 大修館古-244+, 文英 堂231, 明治170	
85	春秋	過らて改めざる、是れを過らと謂う	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	真書3-145/ 明治171	
86	春秋	過らて改めざる、是れを過らと謂う	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	東書古a-250	
87	春秋	益者三友、損者三友、直きを友とし、諛を 友とし	『論語』16季氏	孔子：BC552?-BC479	文英堂231	
88	春秋	性がいしき也	『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479	東書古a-251+	
89	春秋	長閑な顔をして君子を問う。孔子之を過き 子路使いて後る。夫人の使をもつて後を苛 うに問う	『論語』18微子	孔子：BC552?-BC479	教研古a-062+, 筑摩古072, 明治古088	
90	春秋	子路使いて後る。夫人の使をもつて後を苛 うに問う	『論語』18微子	孔子：BC552?-BC479	筑摩古074	
91	春秋	子夏曰く、聞く学びて慊く慊し、 習はば慊より、益なるなり	『論語』19子張	孔子：BC552?-BC479	東書古b-048	
92	春秋	習はば慊より、益なるなり	『論語』19子張	孔子：BC552?-BC479	東書古b-181, 文英堂古337	
93	春秋	子路	『論語』仲尼弟子列 伝	子路：BC542-BC480	桐原古097	

95	春秋	後世を顧みず	『説苑』09正練 『十八史略』	夫妻：位BC495-BC473 句踐：位BC496-BC465	桐原159, 三省堂a-164, 第一-a-170+, 大修館a-267, 東書b-286, 明治140	桐原古086, 三省堂古106, 第一古a-088+
96	春秋	臥薪嘗胆	『呂氏春秋』	伯牙：春秋楚国	桐原140	教研古a-098+, 第一古a-099+, 大修館古a-008+, 筑摩古012, 東書古a-161
97	春秋	知音	『韓非子』32外儲說 左上			
98	春秋	鄭八に目にも腹を買わんとする者有り	『孟子』公孫丑上	宋：春秋战国	教田1-24/教研c-248, 東書b-242	教研古a-Q18+
99	春秋	助長	『列子』黄帝	宋：春秋战国	桐原142, 三省堂a-150+, 教研a-152+, 筑摩198, 東書b-247, 明治128	第一古c-140
100	春秋	朝三暮四	『莊子』齊物論	宋：春秋战国	筑摩199	第一古c-182
101	春秋	朝三暮四	『莊子』齊物論	宋：春秋战国	教研古a-070+, 東書古b-168, 文英堂古374	教研古a-070+, 東書古b-168, 文英堂古374
102	春秋	宋人に子を嫁する者あり	『淮南子』紀論訓	宋：春秋战国	桐原158, 三省堂古068, 教研古a-070+, 大修館古a-152, 筑摩古160, 東書古a-256+, 文英堂古376, 明治132	桐原古158, 三省堂古068, 教研古a-070+, 大修館古a-071+, 東書古a-257+, 明治古090
103	战国	上善は水の若し	『老子』03章	老子：BC400頃?		桐原古158, 三省堂古068, 第一古a-075+, 大修館古a-071+, 東書古a-257+, 明治古090
104	战国	上善は水の若し	『老子』08章	老子：BC400頃?		桐原古158, 三省堂古068, 第一古a-075+, 大修館古a-071+, 東書古a-257+, 明治古090
105	战国	無用の用 三十輻 一轂を共にす	『老子』11章	老子：BC400頃?		桐原古158, 三省堂古068, 第一古a-075+, 大修館古a-071+, 東書古a-257+, 明治古090
106	战国	大道廢れて仁義有り, 奇難出でて大偽あり	『老子』18章	老子：BC400頃?	筑摩195	桐原古158, 三省堂古068, 第一古a-075+, 大修館古a-071+, 東書古a-257+, 明治古090
107	战国	兵は不祥の器, 君子之器に如かず	『老子』31章	老子：BC400頃?		桐原古170
108	战国	人を知る者は器, 自ら知る者は明なり	『老子』33章	老子：BC400頃?	筑摩195	第一古c-207
109	战国	知る者正言むす, 言う者正知らず	『老子』56章	老子：BC400頃?	筑摩196	第一古c-207
110	战国	無事を以て天下を取る	『老子』57章	老子：BC400頃?		第一古c-207
111	战国	江海のもつてよく百谷の主たる所以の者はその謙くこれに下るをもちてなり	『老子』66章	老子：BC400頃?		第一古c-207
112	战国	人の生を柔弱なり。其の死生を、天下水より柔弱なるは莫し	『老子』76章	老子：BC400頃?		第一古c-207
113	战国	天下水より柔弱なるは莫し	『老子』78章	老子：BC400頃?		第一古c-207
114	战国	小国寡民、什伯の器有れども用いざらむ	『老子』80章	老子：BC400頃?		第一古c-207
115	战国	凡そ天下の禍難怨恨、其の起る所以の者今一人有り。人の園圃に入りて其の桃李を、瓜瓞を、子孫を、耕柱を繋る	『墨子』兼愛中 『墨子』非攻上 『墨子』耕柱	墨翟：BC468?-BC376 墨翟：BC468?-BC376 墨翟：BC468?-BC376	桐原古166, 三省堂古180	桐原古166, 三省堂古180
116	战国	狐 虎の威を借る	『戰國策』楚策	楚宣王：位BC369-BC340		筑摩古167
117	战国	官を侮すの害、昔者韓昭侯は酔いて寝ぬ	『韓非子』07二柄	韓昭侯：位BC358-BC333	三省堂a-148, 教研a-150+, 第一-a-164+, 大修館b-244, 筑摩156, 東書a-224+, 文英堂187	桐原古163, 教研古a-076+, 第一古a-084+, 大修館古a-077+, 筑摩古164, 東書古a-200+, 文英堂古384, 明治古139
118	战国	官を侮すの害、昔者韓昭侯は酔いて寝ぬ	『史記』孫子吳起列 伝/『十八史略』	齊威王：位BC356?-BC321? 齊威王：位BC356?-BC321?		第一古a-130+137+
119	战国	孫臏	『史記』孫子吳起列 伝/『十八史略』	齊威王：位BC356?-BC321? 齊威王：位BC356?-BC321?		第一古a-130+137+
120	战国	取えて備するなし	『孟子』五十歩百歩/王道	桐原191, 教研a-188, 第一-c-210+, 大修館b-240, 東書a-222, 文英堂188		第一古a-130+137+
121	战国	取えて備するなし	『孟子』01梁惠王上			第一古a-130+137+
122	战国	五十歩百歩/王道	『孟子』01梁惠王上			第一古a-130+137+
123	战国	君子固を遷しとせずして来たの 何ぞ必ずしも利と曰わん	『孟子』01梁惠王上			第一古a-130+137+
124	战国	趙丁 文獻君のために牛を解く	『莊子』内篇養生主	魏(梁)惠王：位BC369-BC319		三省堂古170, 第一古a-077+, 大修館古a-072

125	戦国	三人、虎を成す	『戦国策』魏策	魏(梁)惠王：位BC369-BC319	明治古020
126	戦国	魏豹午後	『十八史略』	魏(梁)惠王：位BC369-BC319	桐原150, 三省堂b-140, 数研a-162+, 第一-c-238, 文英堂200, 明治136
127	戦国	張儀	『史記』張儀列伝/十八史略	張儀：?-BC309	第一古a-140+, 141+, 142+
128	戦国	蛇足	『戦国策』齊策	魏(梁)惠王：?-BC296	東書古b-158
129	戦国	賊を患いて人を食ましむ 民の父母	『孟子』01梁惠王上	孟子：BC372?-BC289?	第一古c-204
130	戦国	恒産無ければ恒心無し	『孟子』01梁惠王上	孟子：BC372?-BC289?	三省堂古064, 東書古b-167
131	戦国	人に怒りさるの心	『孟子』02公孫丑上	孟子：BC372?-BC289?	桐原古074, 三省堂古065, 数研古a-064+, 大修館古a-068+, 筑摩古078, 東書古a-253, 文英堂古223
132	戦国	源泉は涸渇として昼夜を香かす。	『孟子』05離婁下	孟子：BC372?-BC289?	東書古b-162
133	戦国	仁者は人を愛し、礼者は人を敬す。	『孟子』06告子上	孟子：BC372?-BC289?	大修館a-245
134	戦国	性はおお湯水のごときなり。…水は信に東西を分かつ無きも、上下を分かつんや	『孟子』06告子上	孟子：BC372?-BC289?	桐原190, 大修館a-245
135	戦国	仁は人の心ひかり、義は人の路なり。	『孟子』06告子上	孟子：BC372?-BC289?	第一古c-204, 東書古b-049, 文英堂古322
136	戦国	君子に仁愛あり、而して天下に主たるは	『孟子』07尽心下	孟子：BC372?-BC289?	東書古b-050
137	戦国	聖人天下を治む。深淵水次の如くんば	『孟子』07尽心下	孟子：BC372?-BC289?	桐原古084
138	戦国	感公田を修す、天行・王磨二田は方七百里	『列子』湯問	莊子より前?	三省堂古176, 筑摩古091
139	戦国	不死の理	『列子』湯問	莊子より前?	第一古b-092+
140	戦国	無用を知り始めてともに用を言うべし。足を脚りて之を駁る。	『莊子』雜篇外物	惠施：BC370?-BC310?	筑摩古163
141	戦国	言本にして用無し。子独り狸狢を見ずや、身を思ふして伏し、以て敵念者を脱つ。	『莊子』内篇逍遙遊	莊周：BC369?-BC286?	桐原古161
142	戦国	夢に胡蝶と為る	『莊子』内篇齊物論	莊周：BC369?-BC286?	桐原古159, 三省堂古175, 数研古a-074+, 第一古c-209, 大修館古a-151+, 東書古b-083, 文英堂古378, 明治古134
143	戦国	渾沌、南海の帝を備と為し	『莊子』内篇齊物論	莊周：BC369?-BC286?	桐原古160, 三省堂古070, 第一古a-082+, 筑摩古162, 文英堂古379
144	戦国	尾を鼻中に曳く	『莊子』外篇秋水	莊周：BC369?-BC286?	三省堂古069, 数研古a-079+, 第一古a-083+, 大修館古a-076+, 筑摩古014, 東書古a-258+, 文英堂古377, 明治古092
145	戦国	鰭 鰭足を得たり	『莊子』外篇秋水	莊周：BC369?-BC286?	第一古c-208
146	戦国	不測、結清子王の為に鬪鬪を養う	『莊子』外篇養生	莊周：BC369?-BC286?	桐原古074+
147	戦国	先手陣より始めよ	『戦国策』燕策/十八史略	燕昭王：位BC311-BC279	三省堂古013, 筑摩古016, 東書古b-008, 文英堂古344
148	戦国	魏陽治盜	『十八史略』	孟嘗君：?-BC279?	第一古b-016+
149	戦国	漁父の辞	屈原	BC343?-BC277?	桐原古114, 筑摩古054, 数研古a-084+, 第一古a-096, 筑摩古018, 東書古b-086, 文英堂古330, 明治古054
150	戦国	璧を売ろうと帰る	『史記』廉頗藺相如列伝/十八史略	趙惠文王：位BC298-BC266	桐原古140, 三省堂古111, 数研古a-284, 筑摩古120-121, 東書古b-012
151	戦国	渾沌の会	『史記』廉頗藺相如列伝/十八史略	趙惠文王：位BC298-BC266	桐原古144, 筑摩古124, 東書古a-232, 明治古146
152	戦国	列頭の交わり	『史記』廉頗藺相如列伝	趙惠文王：位BC298-BC266	桐原古147, 三省堂古114, 数研古a-191+, 大修館古a-116+, 筑摩古127, 東書古a-245, 明治古149

180	秦		項王自刎、烏江亭	『史記』項羽本紀	項羽：BC232-Bc202		桐原古068、三省堂古1048、教研古a-0634、第一古a-0414、大修館古a-0413、筑摩古048、東書古a-1924、文英古281、明治古076
181	前漢		吾の天下を有らしむ所以の者固何ぞや	『史記』高祖本紀	劉邦：BC247?-BC195		東書古b-041
182	前漢		威、藩内に加わりて故郷に歸る。天風の歌	『史記』高祖本紀	劉邦：BC247?-BC195		東書古b-046
183	前漢		琵琶、琴を運び、始め笛を吹たりし時	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC? - BC196		東書古b-128
184	前漢		信して榜下より出づ	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC? - BC196		東書古b-129
185	前漢		信しばしは蕭何と語り何之を奇とす 無双	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC? - BC196		筑摩古130
186	前漢		韓信の計策 大王自ら料るに項王にいずれぞ	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC? - BC196		筑摩古132
187	前漢		水を背にして陳す	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC? - BC196		桐原古022、第一古a-020+、東書古b-130、明治古028
188	前漢		交魚死して良御草らる	『十八史略』	韓信：BC? - BC196		東書古b-134
189	前漢		塞翁が馬	『史記』淮陰侯列伝	韓信：BC179-BC122	桐原144、筑摩160、東書b-248	三省堂古020、大修館古a-014+、東書古a-203、明治古013
190	前漢	古詩	秋風の聲	漢の武帝	BC156-BC87		三省堂古126、筑摩古107、明治古117
191	前漢		蘇武と李陵。蘇武節を持す。	蘇武：BC140-BC60		桐原古150・154	桐原古108
192	前漢		薊露	『樂府詩集』	李延年：武帝朝の人		筑摩古108
193	前漢		数字はあい長ずるなり	『礼記』字記	戴聖：宣帝朝の人		桐原古083
194	前漢		王昭君	『西京雜記』/『世説新語』	漢元帝：位BC49-BC33		教研古b-252、筑摩古057
195	前漢	古詩	上郡	『樂府詩集』			東書古a-229
196	後漢		糟糠の妻	『後漢書』朱弘伝	光武帝：位25-57		東書古a-012+
197	後漢		天台二女	『幽明録』	AD62		大修館古a-090
198	後漢		梁上の鴉子。	『後漢書』陳重伝	陳重：104-187		桐原古011、教研古a-100+
199	後漢		鄭白く、人を重んじて尊を賤しよみたり。	『論語集解』	鄭玄：127-200		東書古b-062
200	後漢		小時了了、孔文舉、年十歳にして父に酷い。	『世説新語』	孔文舉：153-208		第一古a-058+
201	後漢		潘女	『魏都記』	潘水		明治古098
202	後漢		簡式	『後魏書』			桐原古033、第一古a-108+、大修館古a-107+、東書古b-073、明治古118
203	後漢	古詩	行き行き重ねて行き行く	『文選』			三省堂古125、東書古b-094
204	後漢	古詩	年半古に満たず	『文選』			
205	三国		魏武、刀を振る	『世説新語』	曹操：155-220		東書a-252
206	三国		曹公、白馬に鞭う	『世説新語』	200		東書a-248
207	三国		曹公、關羽を以て義と為す	『三国志』			東書a-250
208	三国		桃園結義	『三国志』	關羽：? - 219		三省堂古154
209	三国		張飛大いに長坂橋を隔がす	『三国志演義』	張飛：? - 221		三省堂古158・161
210	三国		蕭淑・王朗母に恥じ難を謙く	『世説新語』	蕭淑：157-231		教研古a-020+
211	三国		劉備の死、脱服の力をつくす	『十八史略』	劉備：161-223		三省堂古164、東書古a-21+
212	三国		諸葛孔明、孔明臥龍。三顧の礼。水魚の交わり	『三国志』/『華夷考』/『十八史略』	諸葛亮：181-234		桐原古088、三省堂古156、第一古a-148、大修館古a-100+、東書古a-208、文英堂古350、明治古030
213	三国		諸葛孔明、出師の表	『十八史略』/『古文真宝後集』	諸葛亮：181-234		筑摩古148、東書古b-100
214	三国		流弊して馬鹿を斬る	『十八史略』	馬謖：190-228		東書古a-212

215	三国	赤鹿の鹿、車輪動表を撃つ。表卒す。子の 泣病出を若けて	『十八史略』/『三国 志』/『呉書』扁鵲伝	208年			神原古017, 三省堂古162, 第一古c-151, 東書古b- 096, 明治古033
216	三国	死せる諸葛、生ける仲達を走らす	『十八史略』	司馬懿：179-261		筑摩171	第一古c-154, 大修館古a-103+, 東書古a-214, 文英 堂古353
217	三国	典論 論文	『文選』	曹丕：186-226			筑摩古098
218	三国	七色の詩	『世説新語』	曹植：192-232			神原古034
219	三国	野田 鳳皇行	『古詩経』	曹植：192-232			東書古b-074
220	三国	魏王 兼昭之かつて鹿に乗り	『魏神記』				第一古b-062+
221	西晋	石に漱き油に枕す	『世説新語』/ *	孫子荆：218?-293		数研a-145+	神原古009, 数研古a-019+, 大修館古a-014+, 東書古 b-014, 明治古010
222	西晋	三歳、周処年少き時、兎窟依臥にして狐里 の息うる所と為る	『世説新語』	周処：236-297			神原古090, 三省堂古104, 数研古a-102+
223	西晋	魂を覚る、南嶺の宋定伯	『太平 広記』	石崇：249-300			三省堂古078, 数研古a-106+, 第一古a-060+, 大修館 古a-088+, 筑摩古054, 東書古b-066
224	西晋	敬新隼	『魏神記』	261-303		筑摩084	筑摩古054
225	西晋	魏の娘皇 噂参	『魏神記』				東書古b-064
226	東晋	長安は目の遠きにかいふ	『世説新語』	苻丕：位317-322			
227	東晋	謝季子	王羲之	363		文英堂248	
228	東晋	助勝	『世説新語』	桓温：312-373		明治130	
229	東晋	五占 飲酒	陶潜	365-427			筑摩古088, 東書古a-160
230	東晋	五占 子を責む	陶潜	365-427			三省堂古127, 数研古a-157+, 大修館古a-108+, 筑摩 古108, 東書古a-230+, 文英堂古306, 明治古119
231	東晋	五占 婦去菜の辞	陶潜	365-427			第一古b-108+
232	東晋	桃花露記	陶潜	365-427		第一-a-200+, 文英堂244	神原古046, 三省堂古074, 数研古a-087+, 大修館古 a-056+, 筑摩古021, 東書古a-177+, 明治古057
233	東晋	五柳先生の伝	陶潜	365-427			第一古b-098, 筑摩古100, 東書古b-090
234	南北朝	曹仲思	『南朝録』	劉義慶：403-444			第一古a-064+
235	南北朝	勅勅の歌	『樂府詩集』/『古 詩賞析』	斛律金：北者			神原古034
236	南北朝	面竜点睛	『歴代名画記』	梁武帝：位502-549			神原古098, 三省堂古014, 数研古a-021+, 第一古c- 142, 大修館古a-099+, 文英堂古342, 明治古015
237	初唐	子朝より速きて曰く、人を傳えるやいひや ん	『経典釈文』	隋徳明：?-630		数研a-191+	
238	初唐	野望	王績	585-644			筑摩古030
239	初唐	路 漣たるを拾わす (直観の治)	『十八史略』	唐太宗：597-649			神原古172
240	初唐	劉崇守成 (貞觀の治)	『十八史略』	唐太宗：597-649			東書古b-015
241	初唐	杜少府の任に蜀州に之くを送る	王勃	649?-676?			東書古b-024
242	初唐	七古 白頭を悲しむ翁に代わる	劉長芝	651-678?			明治古120
243	初唐	陳端記	陳玄祐	張鷟、692年、衡州に家す		第一-a-203+	筑摩古140, 東書古b-186
244	盛唐	七絶 涼州詞	王翰	687-726?			三省堂古021, 文英堂古298
245	盛唐	五絶 蜀相に寄る	王之涣	688-740?			東書古b-021
246	盛唐	五絶 建康江に宿る	孟浩然	689-740			三省堂古026, 東書古a-160+
247	盛唐	五絶 春曉	孟浩然	689-740			文英堂古372
248	盛唐	五律 故人の邦に過る	孟浩然	689-740			文英堂古304

249	盛唐	五律	同版に纏む	五端然	689-710	689-710	桐原古030
250	盛唐	七絶	秋山早	石原澄	689-765?	689-765?	明治古109
251	盛唐	七絶	芙蓉楼にて辛漸を送る	王昌齡	689?-761?	689?-761?	桐原古028, 筑摩古029
252	盛唐	五絶	帆装	王維	689?-761?	689?-761?	三省堂古026, 教研古a-028+, 第一古c-158, 文英堂古294
253	盛唐	五絶	竹里館	王維	689?-761?	689?-761?	大修館古a-016+, 明治古040
254	盛唐	五絶	題詩 君故郷より来たる	王維	689?-761?	689?-761?	桐原古027
255	盛唐	七絶	元二の疾西に使いを送る	王維	689?-761?	689?-761?	東書古a-170
256	盛唐	七絶	九月九日山東の兄弟を憶う	王維	689?-761?	689?-761?	第一古a-049+, 筑摩古029
257	盛唐	五古	送別	王維	689?-761?	689?-761?	筑摩古109
258	盛唐	五絶	秋雨の歌	李白	701-762	701-762	大修館古a-022, 東書古b-108
259	盛唐	五絶	独り敬亭山に坐す	李白	701-762	701-762	第一古a-048+, 筑摩古028, 東書古b-108
260	盛唐	五絶	静夜思	李白	701-762	701-762	三省堂古032, 東書古a-168
261	盛唐	五絶	王昭君	李白	701-762	701-762	筑摩古059
262	盛唐	七絶	黃鶴楼にて孟浩然の広陵にふくを送る	李白	701-762	701-762	桐原古028, 文英堂古296, 明治古041
263	盛唐	七絶	廬山の瀑布を望む	李白	701-762	701-762	大修館古a-019+, 東書古b-109
264	盛唐	七絶	早に白滔波を登す	李白	701-762	701-762	第一古a-169, 大修館古a-018+
265	盛唐	七絶	贈周山月の歌	李白	701-762	701-762	大修館古a-024+
266	盛唐	七絶	廬山謠金粟寺	李白	701-762	701-762	教研古a-029+
267	盛唐	七絶	山中宿客	李白	701-762	701-762	大修館古a-059+
268	盛唐	七絶	汪倫に贈る	李白	701-762	701-762	三省堂古028, 東書古b-110, 文英堂古300
269	盛唐	五律	友人を送る	李白	701-762	701-762	桐原古100, 東書古b-111, 明治古122
270	盛唐	五律	魯郡の東の石門にて杜二重を送る	李白	701-762	701-762	大修館古a-108+, 東書古a-231, 文英堂古303
271	盛唐	五律	月下の獨酌	李白	701-762	701-762	桐原古044, 三省堂古058, 第一古a-100, 大修館古a-149+, 筑摩古025, 東書古b-092
272	盛唐	五古	月下の獨酌	李白	701-762	701-762	教研古a-084+, 東書古b-095, 明治古042
273	盛唐	五古	子夜吳歌	李白	701-762	701-762	第一古b-168, 東書古b-113
274	盛唐	五律	春夜桃李の園に宴するの序	李白	701-762	701-762	
275	盛唐	七律	黃鶴樓	崔顥	704?-764	704?-764	
276	盛唐	五絶	絶句 江朝にして鳥いよいよ白く	杜甫	712-770	712-770	三省堂2-137, 光村2-164/桐原162 縁出3-136, 三省堂2-134, 東書2-144, 光村2-168/三省堂b-173, 教研c-262, 第一a-188+, 大修館a-299+, 東書a-233+, 文英堂212, 明治162
277	盛唐	五律	秦望	杜甫	712-770	712-770	三省堂b-166, 教研a-171+, 第一a-182+, 大修館a-288
278	盛唐	五律	月夜	杜甫	712-770	712-770	東書古b-113, 文英堂古299
279	盛唐	五律	旅夜に懷念書す	杜甫	712-770	712-770	教研古a-033+, 筑摩古030, 明治古042
280	盛唐	五律	岳陽樓に暮る	杜甫	712-770	712-770	大修館古a-020+, 東書古a-171+
281	盛唐	五律	春日李白を憶う	杜甫	712-770	712-770	桐原古175
282	盛唐	七律	登高	杜甫	712-770	712-770	桐原古031, 三省堂古030, 東書古a-172, 文英堂古305
283	盛唐	七律	秋風	杜甫	712-770	712-770	東書古b-114
284	盛唐	七律	江村	杜甫	712-770	712-770	第一古a-050+
285	盛唐	五古	石壕吏	杜甫	712-770	712-770	教研古a-158+, 第一古a-110+, 大修館古a-110+, 筑摩古110, 東書古b-116
286	盛唐	五古	李白を懷び	杜甫	712-770	712-770	東書古b-112
287	盛唐	古詩	兵車行	杜甫	712-770	712-770	桐原古102, 三省堂古128, 明治古123

288	盛唐	古語	賀交行	杜甫	712-770	文英堂199			敦研古a-030+, 第一古a-049+, 大修館古a-018+, 東書古a-169+, 明治古041
289	盛唐	七絶	嶺中の作	岑參	715-770				
290	中唐	五律	僧の日本に帰るを送る	錢起	722-780?				
291	中唐		人唐伝	李景亮	李徴: 756年進士				敦研古a-008+, 大修館a-288
292	中唐	五絶	雁を聞く	崔颢	736?-791?				404
293	中唐	七律	李徴・元綱に寄す	崔颢	736?-791?				敦研古a-035+
294	中唐		人面桃花	孟郊	崔暉: 796年進士				桐原古127, 三省堂古138, 敦研古a-109+, 筑摩古144, 明治古106
295	中唐	七律	左遷せらるゝて藍関に至り庭涼湘に示す	韓愈	768-824				筑摩古052, 東書古b-177
296	中唐		五東野に与ふる書	韓愈	768-824				東書古b-174
297	中唐		雜説	韓愈	768-824				第一古a-024, 東書古a-175
298	中唐		師の説	韓愈	768-824				桐原古050, 三省堂古186, 敦研古c-148+, 大修館古a-138+, 筑摩古062, 文英堂古396, 明治古164
299	中唐		猫相乳、哥徒北平王の家に猫子を生んで元を回しにくする者あり	韓愈	768-824				第一古c-214
300	中唐		【唐詩紀事】	韓愈	768-824				第一古a-008+, 明治古011
301	中唐	七絶	羅虜夜泊	張翥	韓愈: 768-824				筑摩古029, 文英堂古295
302	中唐	五絶	秋風の引	劉禹錫	772-842				桐原古026, 第一古a-018+
303	中唐	五律	除夜 弟妹に寄す	白居易	772-846				第一古a-050+
304	中唐	七律	八月十五日夜禁中に独り直し月に対して元九を憶ふ	白居易	772-846				筑摩古031, 東書古a-173
305	中唐	七律	香奩楼下に新たに山居をとり草堂初めて成る偶東轅に贈す	白居易	772-846				明治古043
306	中唐	七古	長恨歌	白居易	772-846				桐原古105, 三省堂古130, 敦研古a-160+, 第一古a-112+, 大修館古a-155+, 筑摩古112, 東書古a-232+, 文英堂古362, 明治古191
307	中唐	七古	荔枝餽	白居易	772-846				大修館古a-112
308	中唐	詩	春を留むるに春住まらず (6字4句)	白居易	772-846				東書古b-148
309	中唐	詩	桐華子春唄りて留むること得ず (7字2句)	白居易	772-846				東書古b-148
310	中唐		箴之と与ふるの書	白居易	772-846				筑摩古151
311	中唐	五絶	江雪	柳宗元	773-819				東書古b-022
312	中唐	七古	漁翁	柳宗元	773-819				筑摩古109
313	中唐		捕蛇者の説	柳宗元	773-819				桐原古117, 三省堂古190, 敦研古a-144+, 第一古a-102, 大修館古a-060+, 筑摩古086, 東書古b-178, 文英堂古333, 明治古168
314	中唐		野の囀	柳宗元	773-819				第一古a-026+
315	中唐		雁の説	柳宗元	773-819				第一古c-216
316	中唐		羅江の鴈	柳宗元	773-819				桐原古134
317	中唐		夜坐して集を談ずれば怪至る	柳宗元	773-819				大修館古a-093+
318	中唐		三尊記	白居易	776?-826				
319	中唐		定新居	李復言	元和二年: 807年				
320	中唐	七絶	白楽天の江州司馬に左遷せられしを聞く	元稹	779-831				
321	中唐	七絶	雁を聞きて懐を感す	賈島	779-843				

322	晩唐	七絶	感德殿の車輪	香漣	757?-854?		大修館古a-023+
323	晩唐	七絶	倚江亭に観す	杜牧	803-853?		三省堂古050, 東書古a-196+
324	晩唐	七絶	江南の春	杜牧	803-853?		教研古a-030+, 東書古b-023
325	晩唐	七絶	別行	杜牧	803-853?		大修館古a-021+
326	晩唐	五絶	酒を勧む	李賀	812?-858		教研古b-028+, 大修館古a-021+, 東書古a-167+
327	晩唐	五絶	遊漢陽に暮る	李賀	812?-858		教研古b-028, 明治古040
328	晩唐	五絶	葉隠	『西陽雜俎』	段成式: 7-863		三省堂古146
329	五代	五絶	古詩	唐遺	882-954		文英堂古372
330	北宋	七絶	岳陽樓記	范仲淹	989-1062		桐原古120
331	北宋	七絶	正午の牡丹	『野溪叢談』	感育: 1004-1068		明治古172
332	北宋	七絶	朋友論	歐陽脩	1007-1072		東書古b-182
333	北宋	七絶	空舟論	歐陽脩	1007-1072		教研古a-090+ 第一古a-028+
334	北宋	七絶	笠笠の親	周敦頤	1017-1073		第摩古070, 明治古061
335	北宋	七絶	烏江亭	王安石	1021-1086		三省堂古050, 東書古a-196+
336	北宋	七絶	伯水名傳か	王安石	1021-1086		第摩古157
337	北宋	七絶	孤僧空雲を詠む	王安石	1021-1086		第一古a-018+
338	北宋	七絶	孤僧空雲を詠む	王安石	1021-1086		大修館古b-017+
339	北宋	七絶	六月二十七日望湖樓醉書	蘇軾	1036-1101		大修館古b-031+
340	北宋	七絶	春夜	蘇軾	1036-1101		三省堂古027, 第一古c-159, 明治古044
341	北宋	七絶	赤壁の賦	蘇軾	1036-1101		教研古b-031+
342	北宋	七絶	医業詠笑	蘇軾	1036-1101		三省堂古194, 第摩古102
343	北宋	七絶	留侯論	蘇軾	1036-1101		第一古a-120+
344	北宋	七絶	留侯論	蘇軾	1036-1101		桐原古064
345	北宋	七絶	留侯論	蘇軾	1036-1101		桐原古065
346	北宋	七絶	雨中岳陽樓に登り君山を望む	范仲堅	1045-1105		教研古a-032+
347	北宋	五絶	烏江	李清照	1084-?		三省堂古051
348	南宋	七律	山西の村に遊ぶ	陸游	1125-1210?		三省堂古031, 第一古c-160, 大修館古a-028, 第摩古032, 明治古045
349	南宋	七律	湖上	楊万里	1127-1206		明治古044
350	南宋	七律	道々ころは父母の子を母たるの心は	朱熹: 1130-1200	東書b-279		
351	南宋	七律	母を念ぶるにあらす。然るに	朱熹: 1130-1200	教研a-191+		
352	元	五絶	亮世者の言	劉基	1311-1375		桐原古124, 第一古a-124+
353	元	五絶	賢母を誦を序す	陶宗儀			第一古a-122+
354	明	五絶	胡隱君を尊ぶ	高濂	1568-1574		教研古b-029+
355	明	五絶	鹿頭を畏る	『笑府』	1574-1646		明治古176
356	明	五絶	一人の性 縁なり。冬日、人と共に炬を囲み	『笑府』	1574-1646		東書古a-162, 文英堂古270
357	明	五絶	一蓮亭先生の官に在りし時、馬鹿を笑けた	『笑府』	1574-1646		
358	明	五絶	酒陰	朱軾	1629-1709		教研c-274
359	清	五絶	氣を種う	『蘭香志異』			文英堂219
360	清	五絶	酒虫	『蘭香志異』	蒲松齡: 1640-1715		桐原古130
361	清	五絶	御用考論	『蘭香志異』	蒲松齡: 1640-1715		三省堂古142, 教研古a-113+, 第一古a-066+
362	清	五絶	落筆成別字を為す	明公履: 1723年進士	雍正帝: 1678-1735		東書古b-184
363	清	五絶	故郡	彭端淑	1699-1779		教研古b-116+
364	清	五絶					第一古b-124+
365	現代	五絶			1881-1936		

縁出3-180, 三省堂3-162, 東書3-154, 光村3-99/

日01	飛鳥	憲法十七案	聖徳太子	604	筑摩150	三省堂古029
日02	奈良	五絶 唐に在りて本郷を憶う	井正			三省堂古082
日03	平安	五絶 自跋	菅原道真	845-903		教研古a-038+
日04	平安	七絶 梅花	菅原道真	845-903		筑摩古034, 東書古a-202+
日05	平安	七絶 顔面を聞く	菅原道真	845-903		明治古178
日06	平安	七絶 顔面を聞く	菅原道真	845-903		第一古a-054+, 大修館古a-080+
日07	平安	七律 門を出でず	菅原道真	845-903		教研古178
日08	平安	七律 春を詠む	菅原道真	845-903		明治古179
日09	平安	春を詠むに舟車を動かすことを用いず。(7字5句)	『和漢朗詠集』三月尽	菅原道真：845-903		東書古b-149
日10	平安	『古今和歌集』真名序	紀綱	?-918		教研古a-170+, 筑摩古096
日11	平安	王昭君	大江朝綱	886-957		筑摩古059
日12	平安	池亭記	鴨波保綱	?-997		三省堂古088
日13	平安	春水三絶正月	春水保綱	1184	大修館a-213	
日14	平安	那賀高岳	感徳：1185	筑摩174		
日15	平安	柳の浦	晴ノ浦：1185			明治古183
日16	室町	七絶 花に對して昔を懐く	藤室周信	1325-1388		桐原古037
日17	室町	七絶 山花茶	藤室周信	1325-1388		三省堂古082
日18	室町	五律 野古の跡の僧房の壁に題す	総徳中津	1336-1405		教研古a-037+
日19	戦国	雲は紫瀬に爛たわりて家何くにか在る	稲葉一徹：1515-1589			筑摩古051
日20	戦国	争う所米糧に在らず	武田信玄：1521-1573			三省堂古090, 大修館古a-084, 東書古a-266+, 文英堂古346
日21	戦国	川中島の戦い 信玄何くに在る	武田信玄：1521-1573			桐原古042, 教研古a-141+, 筑摩古136
日22	戦国	諸将 信玄に服す	武田信玄：1521-1573			東書古a-268+
日23	戦国	四陣 頼元信玄の死を聞く	武田信玄：1521-1573			東書古a-270
日24	戦国	七絶 九月十三夜	上杉謙信	1530-1578	教研a-264, 明治古179	文英堂古297, 明治古179
日25	江戸	七絶 富士山	石田丈山	1583-1672		東書古b-017
日26	江戸	七絶 兼山の瀟瀟	野中兼山：1615-1663			東書古b-053
日27	江戸	七絶 伊藤仁斎 父相巳に老ゆれば	伊藤仁斎	1627-1705	桐原197	
日28	江戸	八絶 想人に非ず	1630-1714	東書a-245+		
日29	江戸	怨然して道を思うは これ自得する	貝原益軒：1630-1714	明治172		
日30	江戸	即事	新井白石	1657-1725		筑摩古034
日31	江戸	性は学者の急とする所に非ず	荻生徂徠	1666-1728		桐原古168
日32	江戸	父を救う者おにたに師を救うのみにて	荻生徂徠：1666-1728	教研a-191+		
日33	江戸	孟子 性善の言有りしより	『論語散』			
日34	江戸	一兼情 鶴を振り仏鑑を誦して	荻生徂徠：1666-1728			東書古b-057
日35	江戸	夜 鶴水衣下る	鞍馬軒	明治173		
日36	江戸	扇鑑	1683-1759			三省堂古083, 明治古180
日37	江戸	七絶 冬夜読書	1774	明治古186		
日38	江戸	七絶 菖草山	1748-1827	三省堂a-177		第一古a-054+, 大修館古a-081
日39	江戸	五絶 菖草山 良寛	1768-1831	桐原195		
日40	江戸	七絶 不識菖草山を撃つの図に題す	1780-1832	教出3-139/		桐原古038, 三省堂古091, 教研古a-037+, 大修館古a-085
日41	江戸	七絶 桂林狂語詠、諸生に示す	1782-1856			大修館古a-081+
日42	江戸	七絶 夏夜	江尾絳雪	1787-1861		桐原古039
日43	江戸	七絶 敬徳帝尊	1806-1878			三省堂古092
日44	江戸	七絶 まる七絶遊せんとして壁に題す	1817-1858			大修館古a-082+
日45	江戸	七律 大相模山	1818-1891			三省堂古084
日46	江戸	七絶 烏丸葦笠	1837-1884	明治154		

日47	明治	新編日記	森鷗外	1892=1922			三省堂古086
日48	明治	歴史地圖	長谷部山	1861=1942			文英堂古307
日49	明治	五絶 碧を恋う	中野通運	1867=1894			柳原古040
日50	明治	五絶 碧を恋う	中野通運	1867=1894		第一a-187+	三省堂古086, 第一古a-465+, 東書古a-263+, 文英堂古301, 明治古180
日51	明治	五律 夏目漱石の伊予に之くを送る	正岡子規	1867=1902			三省堂古085, 筑摩古035, 明治古182
日52	明治	五絶 自画に題す	夏目漱石	1867=1916		文英堂217	
日53	明治	五絶 無題 秋風 方木晴り	夏目漱石	1867=1916		柳原196	
日54	明治	五絶 無題 日は三春に似て永く	夏目漱石	1867=1916		三省堂b-173	
日55	明治	五絶 春日 圃成 道うなみかじ風塵と 秋ゆと	夏目漱石	1867=1916		数研c-265, 東書b-253	
日56	明治	五絶 春日 圃成 流鶯夢を呼び去り	夏目漱石	1867=1916		数研古a-038+, 大修館古a-083+, 明治古181	
日57	明治	五絶 春日 圃成 流鶯夢を呼び去り	夏目漱石	1867=1916		東書古a-264+	
日58	明治	七律 無題 朝に書研を誦む	夏目漱石	1867=1916		三省堂a-187	
日59	明治	七律 無題 朝に書研を誦む	夏目漱石	1867=1916		東書a-229+	
日60	明治	七絶 秋夜の新緑 美なること加うるなし、散步	幸田露伴	1867=1946			
日61	明治	七絶 秋夜の新緑 美なること加うるなし、散步	河上肇	1879=1946		数研a-179+	

付表2 「拙稿2-2」での教科書では扱われていたが、今回、扱われなくなった教材一覧

No.	時代	文体	教材	出典/作者	生卒	中学校「国語」/高等学校「国語総合」 (平成26,27年度末検定済)	高等学校「古語B」 (平成28年度末検定済)
0001	戦		大公望	生八中略			明治古b-096
0002	西朝		褒姒のいに笑う	生八中略	周幽王：位成781=BC771		第一古c-178
0003	春秋	古詩	子丹	『詩経』鄭風	春秋前半		第一古c-250
0004	春秋	古詩	助馬	『詩経』魏風	春秋前半		三省堂古b-097+
0005	春秋		李耳剣を掛く	『梁求』	李札：BC561?=BC515?		教田古b-088+, 三省堂古b-202
0006	春秋		風草火山	『孫子』	孫武：BC506頃		数研古-065
0007	春秋		桑西巴	『韓非子』22腹林上	孟孫：BC531=BC481		文英堂古-232
0008	春秋		弟子 入りでは則ち孝	『論語』01字面	孔子：BC552?=BC479		第一古b-060+
0009	春秋		礼の用は和を貴しと為す	『論語』01字面	孔子：BC552?=BC479		東書古b-374+
0010	春秋		君子は食飽かみことを求むることなし	『論語』01字面	孔子：BC552?=BC479		第一古b-060+
0011	春秋		人の己を知らざるを患えず	『論語』01字面	孔子：BC552?=BC479	教出c-330	大修館古c-248
0012	春秋		今の家は、これよく養うを謂ふ。	『論語』02為政	孔子：BC552?=BC479		第一古c-217
0013	春秋		十世知らんべきや	『論語』02為政	孔子：BC552?=BC479		東書古b-374+
0014	春秋		本朝 三子、何ぞ尊ぶることを患えんや	『論語』03八佾	孔子：BC552?=BC479		文英堂古a-265
0015	春秋		参乎、吾酒は一以て之を厭くと	『論語』04里仁	孔子：BC552?=BC479		教田古b-060+, 東書古b-282+
0016	春秋		父の節知らざるべからず	『論語』04里仁	孔子：BC552?=BC479		東書古b-241+
0017	春秋		徳知らず、必ず讒有りや	『論語』04里仁	孔子：BC552?=BC479		第一古b-039+, 筑摩古-068
0018	春秋		田や、干菜の国其の徳念めしむべし	『論語』05公冶長	孔子：BC552?=BC479		東書古b-376+
0019	春秋		父を回や敬けが愈れると	『論語』05公冶長	孔子：BC552?=BC479		教田古b-063+
0020	春秋		朽木も彫るべからず。糞土の麩は行るべからず	『論語』05公冶長	孔子：BC552?=BC479		教田古a-061+
0021	春秋		已ぬるかみ。吾いまだよその過ちを憂	『論語』05公冶長	孔子：BC552?=BC479		第一古c-216
0022	春秋		質、文に勝れば則ち野、文、質に勝れば則ち史	『論語』06雍也	孔子：BC552?=BC479		大修館古c-249
0023	春秋		仁、遠からんや。我仁を欲うれば斯に仁、至る	『論語』07述而	孔子：BC552?=BC479		教田古b-063+

前024	春秋	かつ事たれど木親を得ずとも	『論語』09子罕	孔子：BC552?-BC479	須藤古-088
前025	春秋	白に落ちて礼に復るを仁と爲す	『論語』12鄉黨	孔子：BC552?-BC479	須藤古-088
前027	春秋	人皆上翁あり	『論語』12鄉黨	孔子：BC552?-BC479	須藤古-086
前028	春秋	賜や、なんし予をもって多く學びて之を識る者之爲すか	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	須藤古-065
前028	春秋	之を知向せん、之を如何せんと曰わざる者は	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	須藤古-068
前029	春秋	人より道を引む。道の人を引むるに非ざるなり	『論語』15衛靈公	孔子：BC552?-BC479	須藤古-068
前030	春秋	子もまた罪問あるか。	『論語』16季氏	孔子：BC552?-BC479	文英堂古-286
前031	春秋	子 武城にゆき弦歌の聲を聞く。…禮を剛くにいすくんぞ牛刀を用いんか	『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479	大修館古-a-067 ⁺ 、東書古-a-245 ⁺
前032	春秋	由より、なんし六言の六徳を聞けるか	『論語』17陽貨	孔子：BC552?-BC479	須藤古-086
前033	春秋	堅くおれれば堪へし	『戰國策』趙策	智伯：?-BC453	第一古-a-090 ⁺
前034	春秋	望の國王、蟻を蚤ひ	『新序』魏事	魏襄王：位BC488-BC482	第一古-a-233
前035	戦国	無為にして深きざること無し	『老子』48章	老子：BC400頃?	大修館古-c-302
前036	戦国	老子 良賈は深く藏して處しきごとし	『史記』老子韓非列伝	老子：BC400頃?	須藤古-112
前037	戦国	一人を殺さば、これを不義と謂い、	『墨子』非攻上	墨翟：BC468?-BC376	釈出古-a-154、柳原古-157
前038	戦国	戦い朝廷に勝てり	『戰國策』	斉威王：位BC367-BC321?	第一古-a-018 ⁺
前039	戦国	慈悲國を亡ぼす	『韓非子』30内儲説上	魏(梁)惠王：位BC369-BC319	明治古-a-051
前040	戦国	孟母断機	『列女伝』	孟子：BC372?-BC288?	三省堂古-a-080、明治古-a-012
前041	戦国	王の臣、その妻子をその衣に託して襦にゆき	『孟子』01梁惠王下	孟子：BC372?-BC288?	須藤古-a-169 ⁺
前042	戦国	天下の広原に居り、天下の原に反ら	『孟子』03滕文公下	孟子：BC372?-BC288?	大修館古-c-251
前043	戦国	人を愛して親しまざればその仁に反れ	『孟子』04離婁上	孟子：BC372?-BC288?	須藤古-a-168 ⁺
前044	戦国	人に存する者は、勝りより良きはなし	『孟子』04離婁上	孟子：BC372?-BC288?	須藤古-a-168 ⁺
前045	戦国	天爵・人爵	『孟子』06告子上	孟子：BC372?-BC288?	文英堂古-268
前046	戦国	運命聞いて下らず	『列子』	『列子』にもあり	明治古-b-133
前047	戦国	紀昌目を置く	『列子』	『列子』にもあり	三省堂古-a-010 ⁺
前048	戦国	北原に魚存り其の各を朝と爲す	『莊子』内篇逍遥遊	荘周：BC368?-BC286?	三省堂古-a-154 ⁺
前049	戦国	馬蹄以て霜雪を踐むべく、毛以て風寒を禦さべし	『莊子』外篇馬蹄	荘周：BC368?-BC286?	釈出古-a-148 ⁺
前050	戦国	修養 田で遊ぶごとく遊容たり	『莊子』外篇秋水	荘周：BC368?-BC286?	明治古-b-260
前051	戦国	伯慶は、孟嘗君、時に君に相たりて、	『史記』孟嘗君列伝	孟嘗君：?-BC279?	第一古-a-280
前052	戦国	にして	『史記』魏公子列伝	信陵君：?-BC243	第一古-a-104 ⁺
前053	戦国	趙の太后	『戰國策』趙策	趙威文王(位BC298-BC286)の後	第一古-a-094 ⁺
前054	戦国	刻削の運、歳は大なるにしくはなく、	『韓非子』23說林下	韓非：BC295?-BC233	第一古-a-226
前055	戦国	教養はあひ長するなり	『礼記』	柳原古-073	
前056	前漢	張良、圯上の老父	『史記』留侯世家	張良：?-BC189	須藤古-119
前057	前漢	李広、石に中りて矢を没す。成蹊	『史記』李將軍列伝	李広：BC?-BC119	須藤古-082、明治古-b-214
前058	後漢	天知る地知る。震 四知を畏る	『賢治通鑑』/『蒙求』	梅賾：64-124	明治古-a-009
前059	後漢	死を 蕤式と謂ひ	『魏都記』	明治古-a-088 ⁺	
前060	後漢	古語 紹翁なる養牛屠	『文選』	後漢古-081	

前061	三国	歳少くして機警、權數有り。任佐放蕩にし	『十八史略』	曹魏：155-220	魏研c-326	三省堂古a-086+
前062	三国	蔡邕に各字を題す	『世説新語』	曹魏：155-220	三省堂c-2965	
前063	三国	前に大いなる梅林あり	『世説新語』	曹魏：155-220	三省堂c-2966	
前064	三国	諸葛孔明、七縦七横	『十八史略』	諸葛亮：181-234	東書古a-208	
前065	三国	諸葛亮をもつて華容に驚る	『三国志東漢』 50回	諸葛亮：181-234	第一古a-150+	
前066	三国	郭景王曹冲	『三国志』	曹冲：196-208	魏出古a-018+	
前067	三国	郭景王曹冲	『世説新語』	曹冲：210-263	魏出古b-216	
前068	西晋	復讐	『魏志』	聖武帝：236-290	三省堂b-346	
前069	西晋	陸機の犬	『魏志』	陸機：261-303	三省堂a-064	
前070	西晋	千日の酒、狄希は中山の人なり	『魏志』	魏帝：335-342	魏出古a-166+, 筑摩古-049	
前071	東晋	白鶴	『魏志』	桓温：312-373	筑摩古-062	
前072	東晋	王子の功	『魏志』	王子猷：?-388	明治古b-091	
前073	東晋	王子猷、此君	『世説新語』	王子猷：?-388	文英堂古-231	
前074	南北朝	魏景	魏景	465-427	第一古-051	
前075	南北朝	魏景	魏景	魏景：403-444	第一古-036+	
前076	初唐	新羅の買胡(貞觀の治)	『十八史略』	唐太宗：597-649	文英堂古-280	
前077	初唐	五絶	陸王主	610?-684?	大修館古b-291, 東書古b-341+	
前078	盛唐	七絶	王之涣	688-742	三省堂古b-212, 東書古b-257+	
前079	盛唐	李復言	李復言	758年主筆	三省堂古a-118	
前080	盛唐	七絶	李白	701-762	三省堂古a-102	
前081	盛唐	七絶	李白	701?-765	三省堂古b-211	
前082	盛唐	七絶	高適	701?-765	三省堂古a-020	
前083	盛唐	五律	杜甫	712-770	明治古a-075	
前084	盛唐	五律	杜甫	712-770	魏出古b-313	
前085	盛唐	七古	岑参	715-770	文英堂古-263	
前086	中唐	五絶	韋諷	732-789	明治a-120+	
前087	中唐	五絶	秋海	734-?	明治古c-222, 筑摩a=153+, 東書c-156	
前088	中唐	五絶	秋夜石具外に番す	746?-791?	大修館c-322, 筑摩a=153+, 東書c-156	
前089	中唐	五古	波子吟	781-814	第一古c-292	
前090	中唐	五古	魏名	788-824	第一古c-100	
前091	中唐	七絶	白居易	772-846	明治古b-113	
前092	中唐	七絶	白居易	772-846	魏出古b-113	
前093	晚唐	七絶	柳宗元	773-819	魏研c-154+	
前094	晚唐	七絶	柳宗元	803-853?	筑摩c-154+	
前095	北宋	五絶	蘇軾	7-887	筑摩a-152+, 東書a-333, 明治a=122+	
前096	北宋	五絶	蘇軾	1007-1072	東書古b-392+	
前097	北宋	五絶	蘇軾	1007-1072	明治古b-066	
前098	南宋	五絶	陸游	1107-1072	第一古a-076+	
前099	元	五絶	陸游	1125-1210?	魏研古-100	
前100	明	五絶	楊基	1311-1375	魏研古-102	
前101	明	五絶	楊基	1488-1659	第一古a-134+	
前102	明	五絶	楊基	1507-1560	第一古a-136+	
前103	清	五絶	吳牧	1536-1618	第一古a-141+	
前104	清	五絶	吳牧	1716-1797	文英堂古-299	
前105	清	五絶	吳牧	1727-1814	第二古a-144+	
前106	清	五絶	吳牧	1821-1807	明治古b-145	
前107	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	筑摩古-086	
前108	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	大修館古b-282	
前109	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前110	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前111	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前112	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前113	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前114	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前115	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前116	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前117	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前118	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前119	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前120	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前121	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前122	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前123	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前124	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前125	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前126	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前127	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前128	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前129	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前130	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前131	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前132	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前133	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前134	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前135	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前136	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前137	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前138	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前139	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前140	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前141	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前142	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前143	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前144	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前145	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前146	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前147	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前148	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前149	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前150	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前151	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前152	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前153	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前154	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前155	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前156	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前157	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前158	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前159	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前160	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前161	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前162	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前163	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前164	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前165	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前166	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前167	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前168	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前169	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前170	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前171	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前172	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前173	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前174	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前175	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前176	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前177	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前178	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前179	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前180	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前181	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前182	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前183	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前184	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前185	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前186	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前187	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前188	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前189	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前190	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前191	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前192	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前193	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前194	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前195	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前196	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前197	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前198	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前199	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	
前200	江戸	五絶	伊藤仁斎	1673-1705	明治古b-267	

別目05	江戸	雑談	佐藤一斎	1772~1859		明治古本1414+
別目06	江戸	七古	坂東屋に消す	1780~1832		三省堂古本-075+
別目07	江戸	歌合一校	熊田熊豊	1798~1860		三省堂古本-076
別目08	江戸	七絶	大塚重中の子作	1837~1884		柳原古本-038
別目09	明治	七絶	福屋入いまだ死せず	1867~1916		東書古本-258

付表3 「拙稿1」「拙稿2」の教科書で扱われたことがあり、今回、再び扱われるようになった教材一覧

No.	時代	文体	教材	出典/作者	生卒	「拙稿1」 中学校「国語」(平成16年度末検定済)/高 等学校「国語総合」(平成17年度末検定済)/高 等学校「古典」(平成14~19年度末検定済)	「拙稿2」 中学校「国語」(平成22年度末検定済)/高 等学校「国語総合」(平成23年度末検定済)/高 等学校「古典」(平成24~25年度末検定済)
42	春秋		朝に道を聞かば 徳有る者は必ず言有り、言有る者必ずしも 徳有らず 仁者は必ず勇有り、勇者は必ず しも仁有らず	『論語』04里仁 『論語』14憲問	孔子：BC552?-BC479 孔子：BC552?-BC479	右文252/筑摩古052	
88	春秋		益者三友、損者三友。直きを友とし、諛を 友とし	『論語』16季氏	孔子：BC552?-BC479	筑摩古046	
110	戦国		無事な以て天下を取る	『老子』57章	老子：BC400頃?	右文251/筑摩古045	
141	戦国		當大にして用無し。子独り狸狢を見ずや。 身を尊くして伏し、以て敵を害者を啖つ。	『莊子』内篇逍遙遊	莊周：BC369?-BC286?	大修館古2-260、東書古*152 柳原古133	
197	後漢		天宮二女	『御明録』	Ab29	柳原古*142+	
288	盛唐	古詩	崔信	712-770	右文267	第一-3-136	
290	中唐	五律	魏の日本に帰るを送る	792-780?	東書古093		
333	北宋	朋友論	歐陽脩	1007-1072	東書古163		
337	北宋	仲永を憐む	王安石	1021-1086	第一古136		
338	北宋	孟嘗君伝を讀む	王安石	1021-1086	第一古136		
日15	平安		狸ノ浦	堀ノ浦：1185	教出古本-094		
日19	戦国		雲は秦嶺に覆たわりて家何くにか在る	大綱繪漢『近古史 談』	稲葉一徹：1515-1589	大修館古1-208	
日24	戦国	七絶	九月十三夜	1530-1578	明治古286		
日54	明治	五絶	無頼 目は三輪に似て来く	1867-1916	筑摩古028		筑摩古031、明治古*137